

厳選良問

～ 知っているようで意外と知らない ～

分野

介護技術分野

出典

介護福祉士試験(第32回-問題37)

問題

問題 ユニバーサルデザイン (universal design) の7原則に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 高齢者が優先的に使用できる。
- 2 使い方を統一する。
- 3 情報伝達の手段は一つにする。
- 4 使用するためには訓練が必要である。
- 5 誰にでも使える大きさと広さが確保されている。

ポイント&解答

資格別試験対策

社会福祉士	精神保健福祉士	介護福祉士	介護支援専門員	保育士
★★	★★	★★	★	★★

注) ★★★…必ず学習!! ★★…できれば学習! ★…余裕があれば確認 ×…学習しなくてOK

試験対策ポイント解説

ユニバーサルデザインという言葉を見ると、多くの受験生が「ああ！あれね♪」となると思いますが、それを具体的または詳細に質問されると、意外と答えられないこともあるでしょう。

今回は、ユニバーサルデザインの7原則についてですが、この7原則を知らなくても、ユニバーサルデザインとはどういうものなのかを、しっかりと理解していれば対応できる内容となっています。とくに「高齢者」や「障害者」といった特定の者ではなく、「誰でも」というキーワードが頭の中にインプットされていれば、正答を選択できますね。

念のため、ユニバーサルデザインの7原則を以下に記載しておきます。

～ ユニバーサルデザインの7原則 ～

- ①誰にでも公平に利用できること
- ②使う上で自由度が高いこと
- ③使い方が簡単ですぐわかること
- ④必要な情報がすぐに理解できること
- ⑤うっかりミスや危険につながらないデザインであること
- ⑥無理な姿勢をとることなく、少ない力でも楽に使用できること
- ⑦アクセスしやすいスペースと大きさを確保すること

解答

5

